

Woody News

No.411 (12.05.2018)



だるま夕日

11/04 17:31

平生港田名埠頭で撮影



だるま夕日の季節です

今年も“夕日撮り”が始まった。冷えた空気と海水の温度差によって見られる「だるま夕日」の撮影。夕方になると事務所の窓から西の空を眺めて雲の状態を見て行くかどうかを決めて出かける。11月は10日出かけて撮影出来たのは6日。私の撮影場所は隣町の田名埠頭、事務所から南周防大橋を渡って5分のところ。

行く！と決めた日は日没10分前には着いて準備して待つのだが、行ってみたら雲がいっぱい…という日もあって諦める日も多い。

11/14、いつものように出かけたが雲が多くて「今日はダメだ…」と諦めて帰り支度を始めた。

ところが水平線には雲が無かったようで、見事な「だるま夕日」が現れて夢中でシャッターを切ったのが左の1枚。

また、瀬戸内を行き交う船が通過することもしばしば。



右はトップ写真の翌日撮影の1枚。この日も「だるま」になったが、30秒ほど早く船が横ぎってくれたら“だるま夕日に船”だったのに…と悔やまれる。

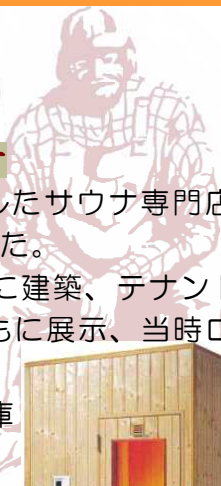
だけどそこが自然のイイところ…、と考えながら夕日撮りは続いている。

高性能カメラだろうね…とよく聞かれるが私はCanon PowerShot SX60 HS、一般的なデジカメである。…というわけで最初のページは真っ赤っか！。





こんなことを考えています



これは面白いんじゃないかなと思って…と東京・昭島市にオープンしたサウナ専門店『メトスサウナソッピ』を見た田川さんからパンフレットが送られてきた。

サウナと言えば 35 年前に貸店舗「タウン 8」を田布施の県道沿いに建築、テナントが決まる 1 ヶ月間だけ開設したショールーム“暖”に薪ストーブとともに展示、当時ログハウスや一般家庭に 5～6 台を設置したのを思い出した。

展示していた箱形サウナ(写真右)は事務所内にスペースが無いいため倉庫に眠っているままにしている。

その気になって“サウナ構想”

その気になって“サウナ構想”がスタートしたが、屋内設置はともかく屋外設置となると箱形じゃあまりにも一般的、ちょっと変わったカタチにしたい…と行き着いたのがバレルタイプ(樽形)だった。

この樽型サウナ、自分では独創的！…と考えていたが、ネットで探すと参考になりそうなのがいくつも出てきた。(写真下：フリーイラスト素材集より)

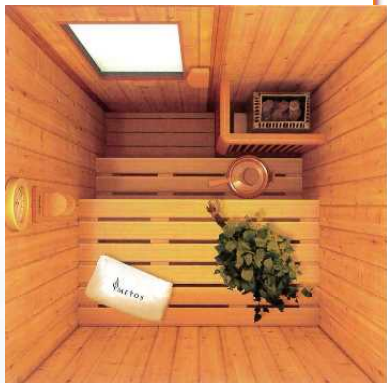
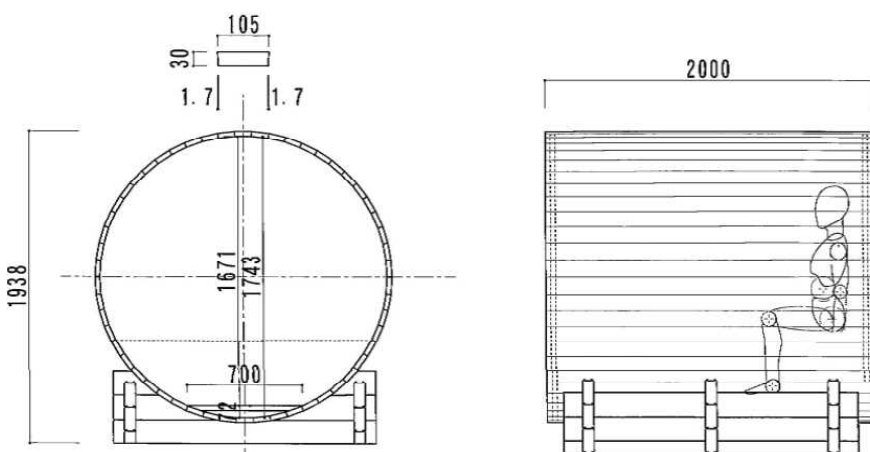
容積計算などをおこなってログハウジングに相談、出来あがったプランが下の図面である。

角ログ 3 段積みの架台に本実加工した厚み 30mm・幅 100mm の杉板を組み上げてφ 1.8m、奥行 2m の樽形に仕上げる構造で 1 人用。

プランが固まったところでサウナヒーターの機種選びが始まり、メトスに相談したところ「サウナヒーター単体の販売はしていない」の返事。

他のサウナ専門業者に相談して容量に合うヒーターと制御盤、温度センサー、サウナストーンなどのセットやログハウジングの部材見積もりも揃ってサウナ構想は実現しそうだ。

正月明けには各部材を発注、試作品を組み立てて熱損失などを計測、改良を加えて完成させる計画だが…？。



気になるキット価格も同規模の箱形(1,200,000 円～)とほぼ同じくらいに抑えられそうである。

遠赤外線による大量の発汗作用が新陳代謝を促し、大量に送り込まれる酸素によって身体と脳が活性化、心身ともにリフレッシュできるサウナ。あなたのご家庭にもぜひご検討いただきたい。使用した写真はすべてイメージです。



たまには笑ってください…と周防大島町へ

貨物船の衝突事故から1カ月の22日、田布施町まるごと公園化プロジェクト理事長の田川さんの代理で周防大島町役場に椎木町長を訪ね、疲労が溜まった町民の方々に「たまには笑ってください…」と島田洋七講演会のチケット50枚を寄付した。周南新報社の清神さんの取り計らいで実現したもの。(写真：周南新報社 清神さん提供)



町長からは事故後の町民の様子やこれからの対応策について詳しいお話を聞き、あらためて事故が及ぼした影響の大きさを知った。

お忙しいにもかかわらず対応いただいた椎木町長と周南新報社の清神さんに感謝。



抱腹絶倒の80分でした

心配した天気にくずれもなく会場の田布施町商工会館『サリジエ』には250人が詰めかけた。島田洋七さんはマネージャー役の息子さんと2人でその日の朝佐賀の自宅から新幹線と山陽本線を乗り継いで田布施にやってきた。前日夜に岩手から帰ってきたとはとても思えない元気さだ。



スタッフは9:00に集合してイスを並べたり受付の設営、音響チェックなどをおこない、ステージにはフラワーアレンジメンター河内みすずさんが紅葉のブルーベリーとカーネーションで活けた花も飾られ開場を待った。以下、当日のスナップ(順不同)。



講演会は“佐賀のがばいばあちゃん”の話題や漫才ブームの頃のエピソード、最近の国会のことなどの話に会場は抱腹絶倒、アツと言う間の75分だった。それにしても水も飲まずに息つくまもない“しゃべりっぱなし”の話芸は彼独特のもの…とあらためて感じた。終わってロビーでサイン会がおこなわれ、CD販売のコーナーは大人気。持ち込んだ50枚はアツと言う間に完売した。お越しいただいた方々、ありがとうございました。お手伝いしてくださった町役場やスタッフのみなさん、お疲れでした。

